

## 令和2年度 薬学部 過年度卒業生へのアンケート調査結果について

### 1. 趣旨

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成30年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって3つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

ここでは、指標の一つである「卒業アンケート」について、卒業後5年、10年の学生（薬学部は5年のみ）を対象に実施したアンケート調査結果について報告する。

### 2. 概要

調査対象 薬学部卒業生

第4期生【平成28年3月卒業】 132名（卒業後5年目）

調査期間 令和2年7月1日（水）～9月11日（金）

実施方法 インターネット（Google Form）を利用したWebアンケート

- 質問内容
- ① 氏名、性別、年齢、お住まいの地方、卒業年度（〇期生）
  - ② 現在の状況、勤労状況、勤務形態
  - ③ 臨床研修を受けた都道府県、専門研修（後期研修）の選択科または選択予定科※医学部のみ
  - ④ 専門医の取得状況 ※医学部のみ
  - ⑤ 学位の取得状況、満足度 ※医学部のみ
  - ⑥ 学位授与方針に対する卒業時の自己評価
  - ⑦ 岩手医科大学での学びのキャリア選択への貢献度 ※医学部のみ
  - ⑧ 岩手医科大学のカリキュラムに対する満足度
  - ⑨ 岩手医科大学での学びの地域医療への貢献度
  - ⑩ 岩手医科大学への満足度
  - ⑪ その他

### 3. 結果

#### 【回収率】

薬学部 第4期生 24.0%（29人/121人（132人））

詳細は別紙の通り。

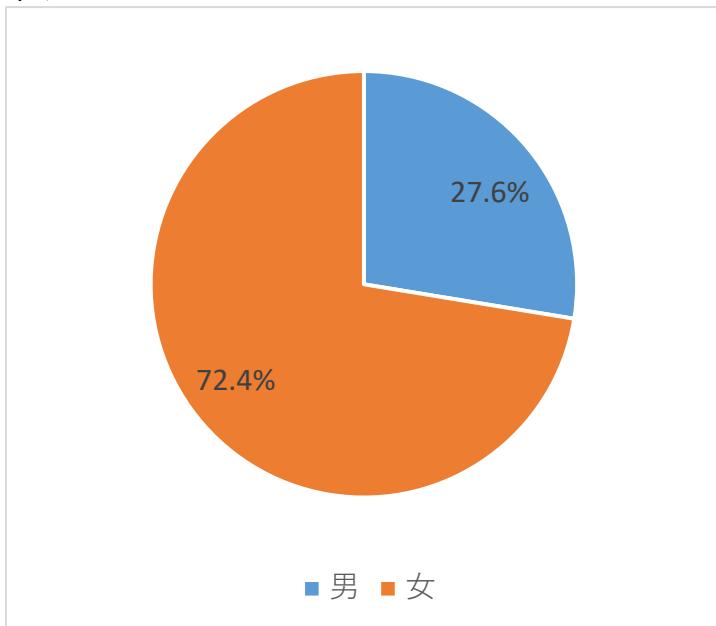
### 4. 総括

#### 【薬学部】

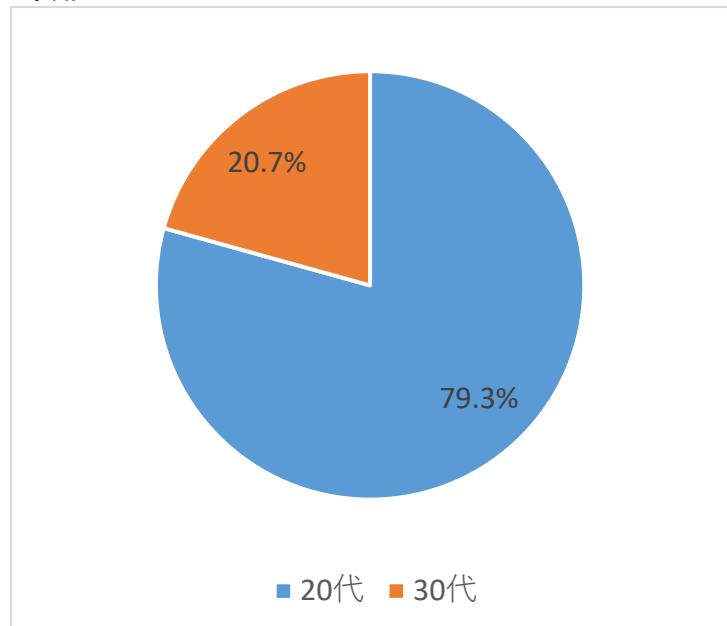
- ・多くの卒業生が卒業後5年を経過しても薬剤師として勤務している。勤務先としては企業が大半を占める。
- ・設問4 学修成果の達成では、「医療人としての倫理観」「医薬品の適正な扱い」に対する達成度が比較的高い。一方で、「チーム医療へ参画する能力」「医療人材を育成する意欲と態度」などの達成率が低く、20%程度であった。
- ・設問5カリキュラムへの満足度について、「満足している」「ある程度満足している」が合計で60%程度にとどまっている。一方で、地域医療への貢献度は比較的高く評価されている。
- ・設問7本学を卒業してよかったかという問いに対して、「良かった」「どちらかといえば良かった」が75%以上を占めており、満足度は高い。

# 薬学部

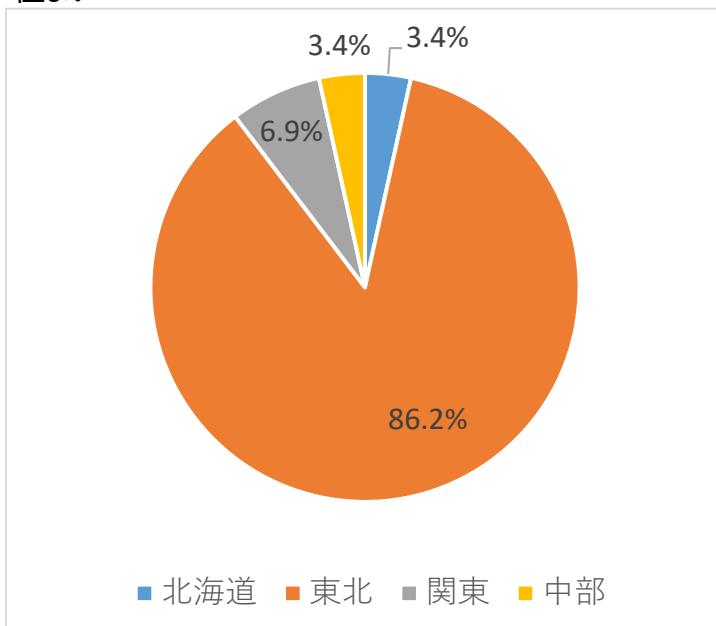
性別



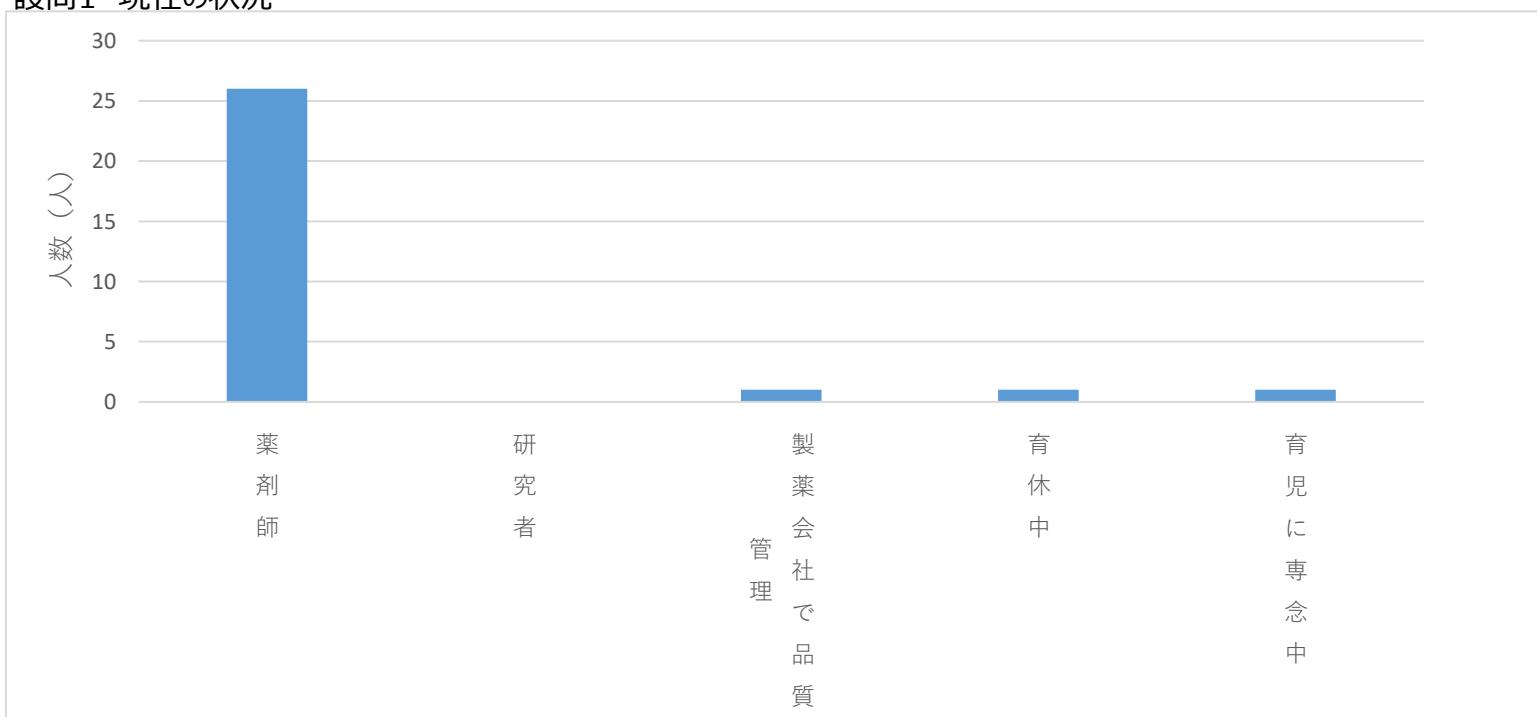
年齢



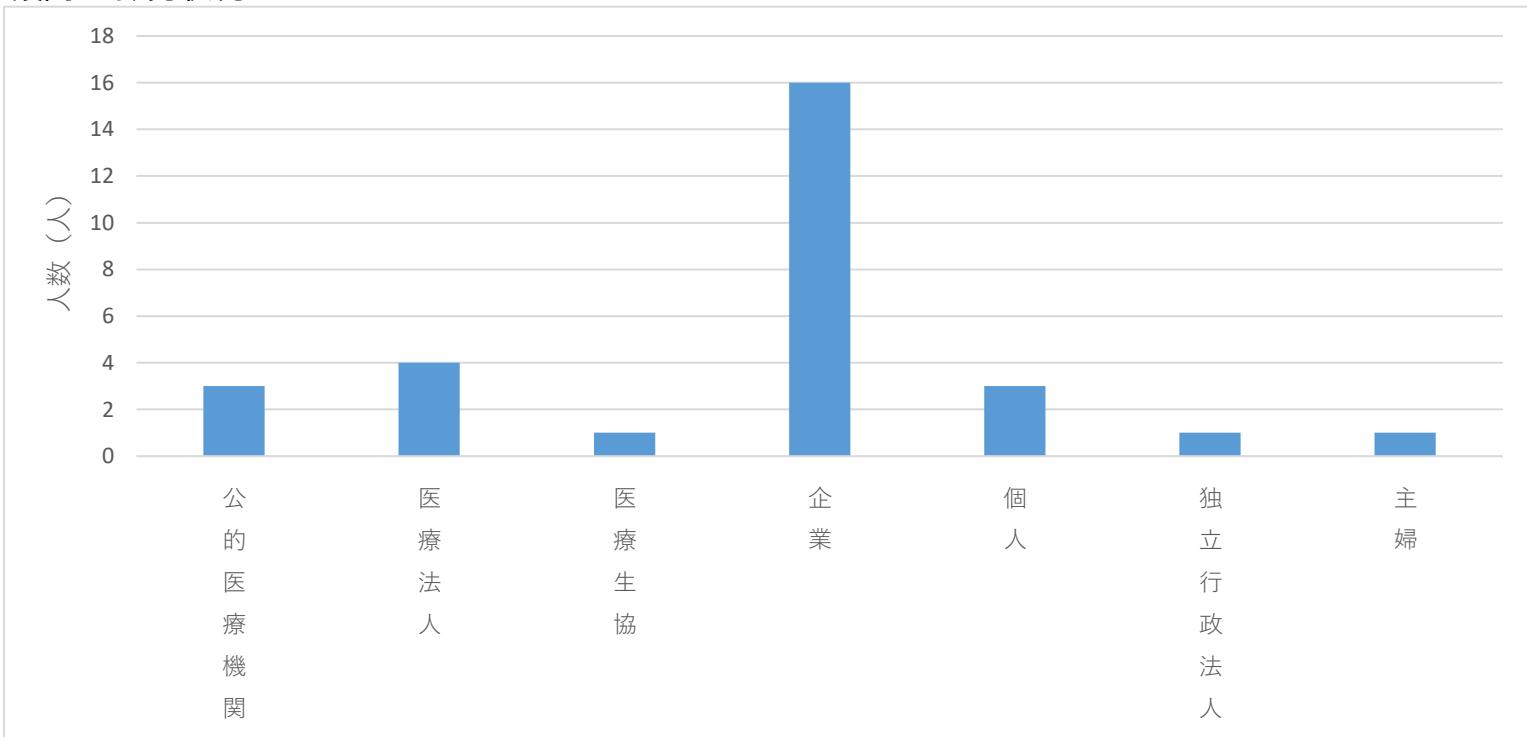
住まい



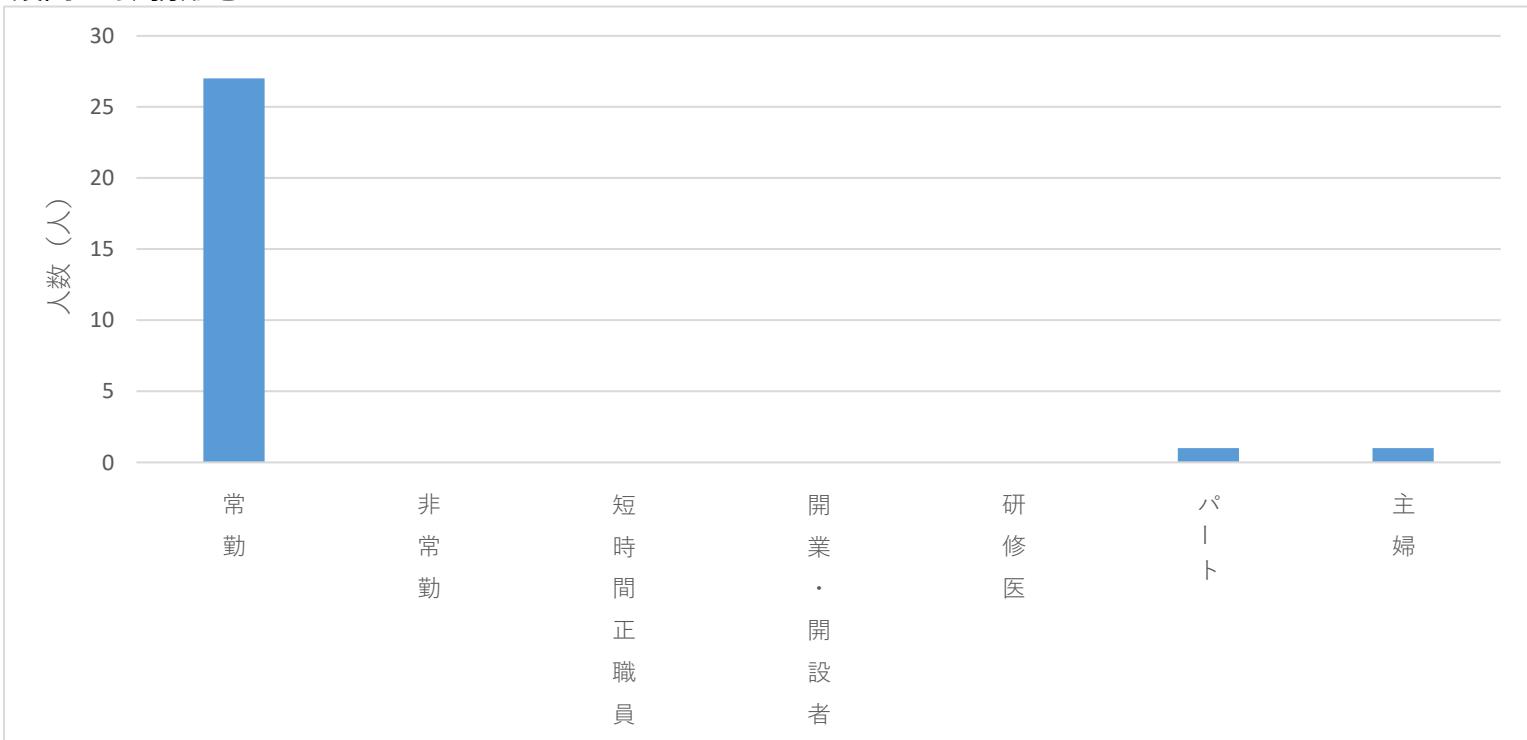
設問1 現在の状況



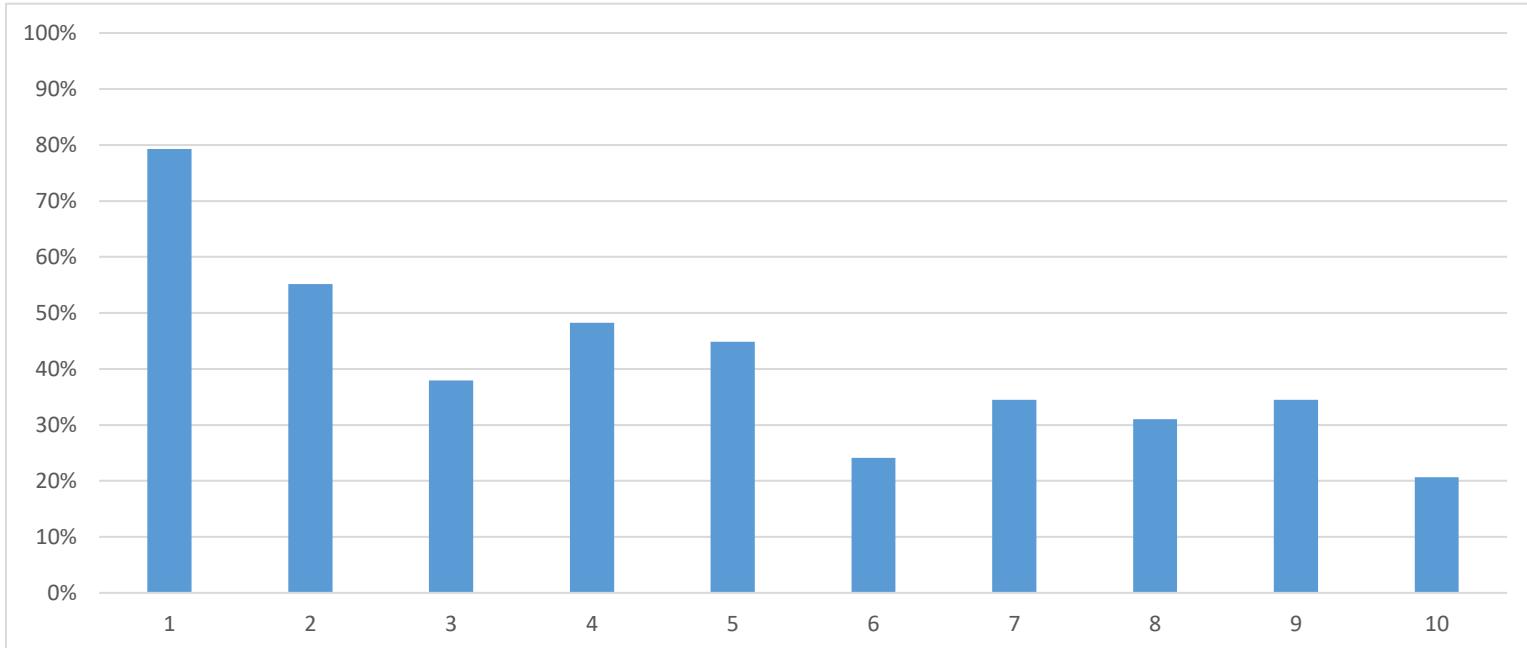
### 設問2 勤勞狀況



### 設問3 勤務形態

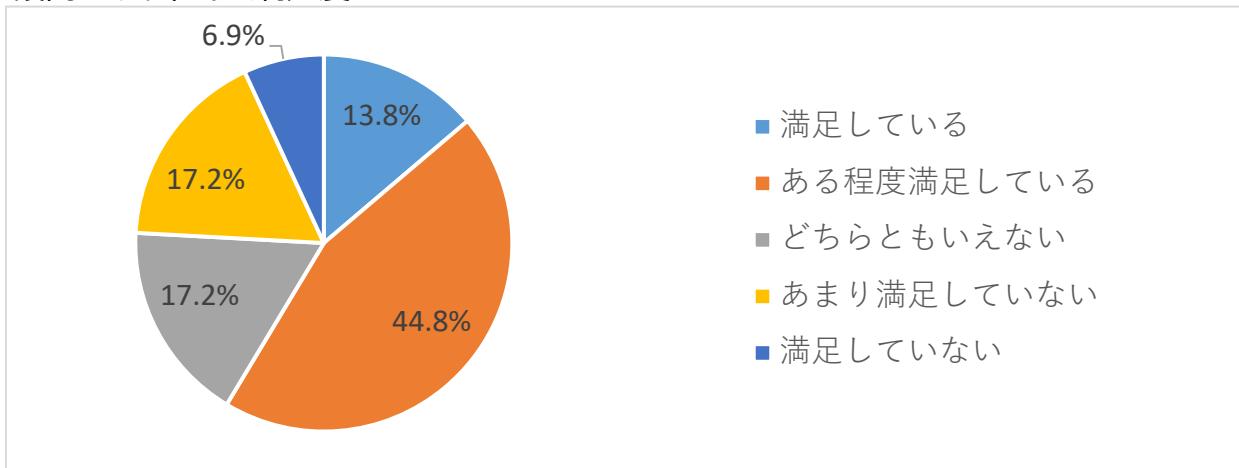


#### 設問4 学修成果の達成について



1. 医療人としての倫理観を備え、患者・生活者の視点を考慮し行動する。
2. 医薬品を理解して適正に取り扱う。
3. 医薬品および関連する法規・制度、公衆衛生等について、医療人のみならず一般人にも分かりやすく適切に説明する。
4. 適正な医療の提供および国民の健康維持・増進のサポートに貢献する。
5. チーム医療において、患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。
6. 医療施設や地域におけるチーム医療に積極的に参画し、相互の尊重のもとにファーマシューティカルケアを実践する能力を有する。
7. 薬学・医療の進歩と改善に資する研究を遂行する意欲とそれを実践するための基本的な知識・技能・態度を有する。
8. 医療における問題点を抽出し、科学的・論理的に問題解決を実践する意欲と態度を有する。
9. 薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯学習を実践していく意欲と態度を有する。
10. 次世代を担う医療人を育成する意欲と態度を有する。

#### 設問5 カリキュラム満足度



(記述回答)

##### 【ある程度満足している】

- 実務、実習系の割合が多く研究に関するカリキュラムが少ない。
- より国家試験の出題形式、出題内容に沿った内容を講義の中に取り入れて欲しい。国家試験の内容を把握できていない学年に於いて、なぜその講義が必要なのかを理解しているか、そうでないかで授業内容の吸収率は変わると思う。2年、3年生のうちからより国家試験を意識しながらの講義を行うことで国家試験合格率は上がるとおられる。

##### 【どちらともいえない】

- 国家試験対策を早めにやって欲しかった。

設問5 カリキュラム満足度（記述回答 続き）

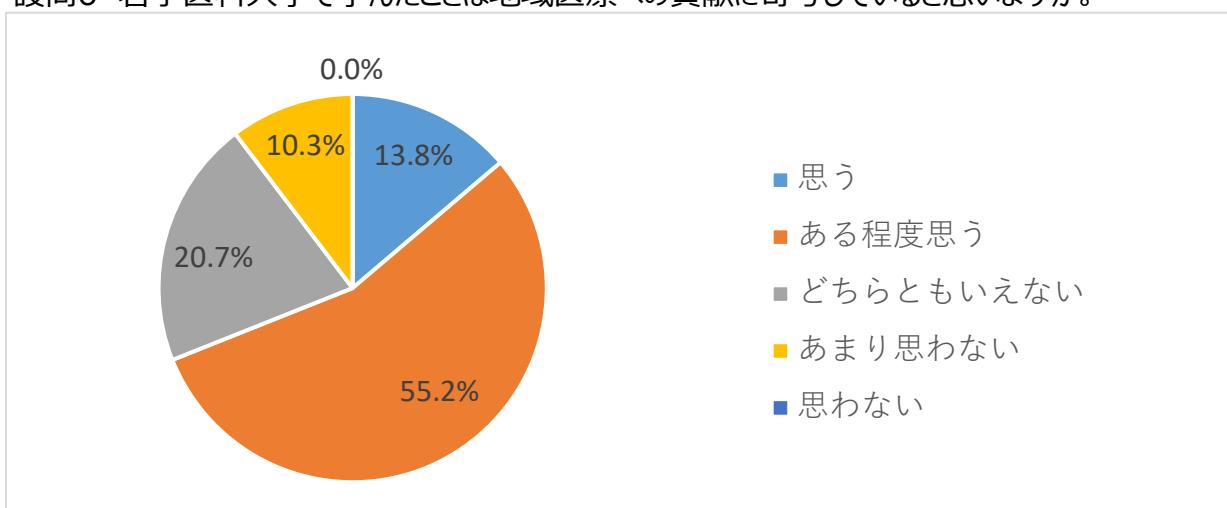
【あまり満足していない】

- 実際の国家試験問題を用いて、この実験はこれだとか、この法則はこれだとかわかるようにすべき。他大学のように5、6年次は薬ゼミ等に教えてもらったほうがいい。
- 実験はしっかり国試の勉強に結びつけて知識がある時にすべき。
- 国家試験合格を目指すため、薬学の知識を学ぶため、など科目によって目標としているところが違うように思う。

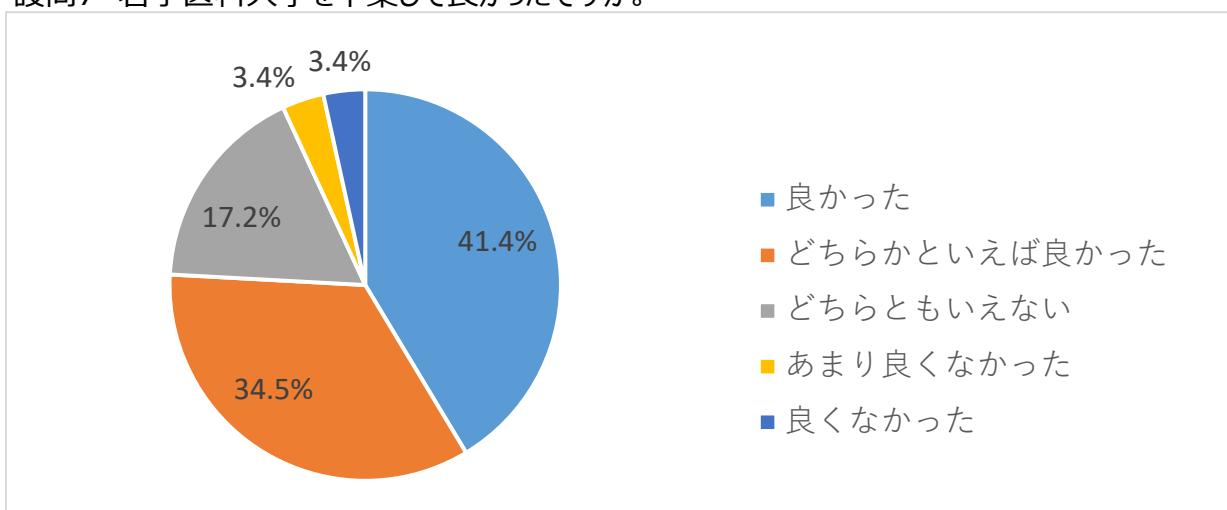
【満足していない】

- 現実を教えて欲しかった。理想ばかりが多く、現実とかけ離れており、実際に働いていてその乖離により苦しさを感ずる。

設問6 岩手医科大学で学んだことは地域医療への貢献に寄与していると思いますか。



設問7 岩手医科大学を卒業して良かったですか。



（記述回答）

【良かった】

- 他の学部があるからこそその交流や、大学病院があることでの実習は魅力的だと思うため。
- 多くの先生が国試のために対策をしてくれて、協力してくださった。
- 熱心に教えてくださる先生方がいて、サポートしてくれたため。
- 大学で出会った人との繋がりが今に影響しているから
- 良い指導者が多い学生のことをよく理解している

設問7 岩手医科大学を卒業して良かったですか。(記述回答 続き)

【どちらともいえない】

- 入学者数が減っていると聞いています。母校がなくなってしまうのではないかと少し悲しい気持ちです。
- いい友人に出会えた。
- 地域医療の貢献に努めるためにも、同じ学び舎で医、歯、薬の3学部の知り合いを作れことはプラスに働く。
- 地域によって求めている医療の質が異なるため、どちらとも言えない。

設問8 その他、大学への意見をご記載ください。

- 卒業論文のための負担が講座によって違いすぎる。ある程度同じ時間を目安としないと勉強時間に支障が出てしまうと思う。
- 合格率を上げて欲しい。
- せっかく大学病院があるのに、病院と1年次を除くと5年次の実習でしか関わることがないのはもったいないように思います。
- 教授の方々が優秀すぎるため、基本ができていない学生は授業の内容についていけなくなる。フォローをできる仕組みがあればもっと良かった。